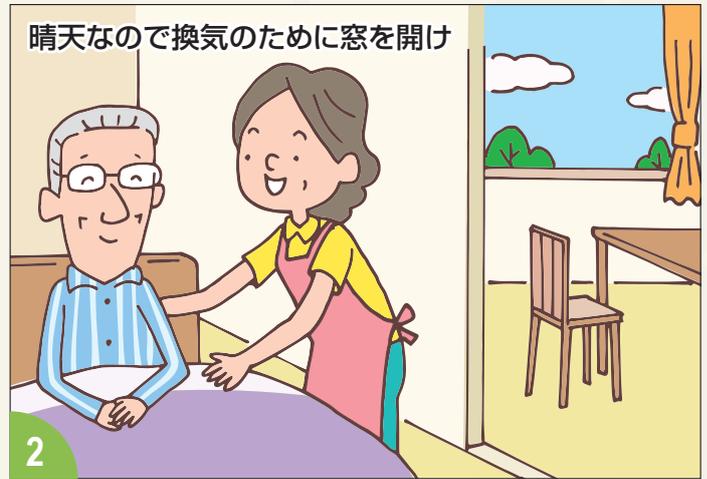


ご利用者宅の窓を閉め忘れ 雨で居間がびしょ濡れに!



なぜ事故が起きてしまったのか?

訪問先から帰るときに、訪問前の状態に戻っているか、点検をしなかった。

電気ストーブの消し忘れやガスの元栓のしめ忘れなど、重大な事故につながる場合もあります。

事故防止に向けて

チェックシートを作成し、
部屋の状態が元通りになっているか確認するようにしましょう。

退室するときは、
もう一度立ち止まって確認。

事例

3

財物の
紛失・破損

ご利用者の補聴器を トイレに水没させてしまった!



事故防止に向けて

排せつ介助のようにご利用者の体が大きく動く場合は、身に着けているもの(特に補聴器のような小さなもの)に注意しましょう。

MEMO

補聴器のほか、メガネや腕時計、入歯などの破損や水没の事故が多く発生しています。

事例

4

財物の
紛失・破損

ご利用者の荷物を 置き忘れてしまった!



事故防止に向けて

ご利用者の持ち物は「すべて宝物」という意識を持って、肌身離さずに持ち歩きましょう。

MEMO

ご利用者から預かったお財布や鍵などの紛失は多く発生しています。

事例

5

財物の
紛失・破損

壁に車いすをぶつけて 傷つけてしまった!

ポータブルトイレを避けようとして、車いすをぶつけました。



事故防止に向けて

車いすで室内を移動する場合は、急がず、慌てずに。曲がり角や方向転換をする際には、後ろや横をよく見ましょう。

MEMO

ご利用者の家では、家具やポータブルトイレなどで狭くなっていることもあります。

事例

6

財物の
紛失・破損

清拭中、ベッド脇にあった花瓶を割ってしまった!

無理な体勢で体を拭いていたら、体がタンスにぶつかり花瓶を落としてしまった。



事故防止に向けて

業務前は、必ずご利用者の周りに何があるか確認し、危ないものは移動させておきましょう。

MEMO

介護サービスは、さまざまな場所で提供されます。まずは現場の状況をきちんと把握しましょう。

訪問先へ向かう途中 自動車をぶつけてしまった!



なぜ事故が起きてしまったのか？

ご利用者を待たせたくないという気持ちから、約束の訪問時間に間に合わせようと慌ててしまった。そのため、集中力や判断力が欠けてしまった。業務中の運転は、このような状況が多くあることを自覚しましょう。

事故防止に向けて

事業所全体で交通安全講習を行い、運転時には自身の心理状態を見つめ直すことを心がけるようにしましょう。

運転するときは、どんなときでも
「心のゆとり」が大切です!

力任せの移乗により 腰を痛めて動けなくなった!



なぜ事故が起きてしまったのか？

体力の過信や介助の経験不足から、力任せの移乗介助をしてしまった。忙しいときは、ベテラン職員でも力に頼った移乗介助をしてしまいがちなので注意しましょう。

事故防止に向けて 腰に負担がかからない、介護技術の習得や福祉機器を活用する持ち上げない介護（ノーリフティングケア）の取り組みが大切です

健康に働き続けることが大切。
腰に負担をかけない介護を実践。

事例

3

介護職員の
事故

ベッドから車いすへの移乗時 ご利用者と一緒に転倒!



事故防止に向けて

まずベッドと車いすの位置
や高さ、物が落ちていないか
を確認。ご利用者の身体能
力を把握し、動作のたびに
声をかけて移乗しましょう。

MEMO

ベッドから車いすへの移乗で起きる
事故は多発しています。ご利用者
のケガにもつながるので、注意しま
しょう。

事例

4

介護職員の
事故

冬場の訪問先の玄関先で すべって転んでしまった!



事故防止に向けて

訪問介護は、訪問先、時間、
天候など、異なる状況で
サービスを提供します。外
に出る際は転倒事故が多
いことを意識しましょう。

MEMO

訪問介護に限らず、室内から外へ出
る際は転倒事故に要注意。特に冬
場は降雪や凍結で足元はすべりや
すくなっています。

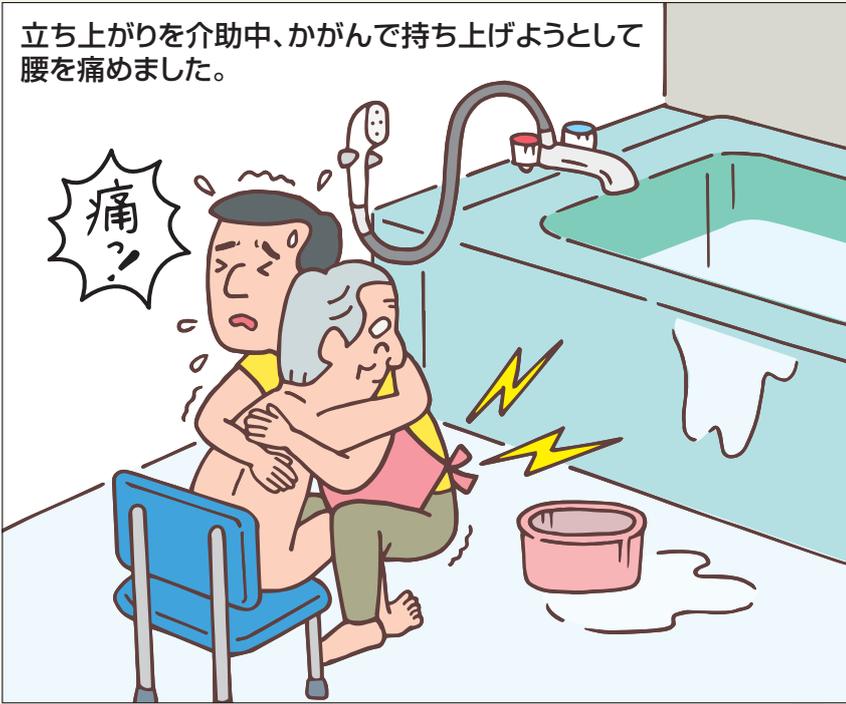
事例

5

介護職員の
事故

介助に集中して無理な姿勢になり、腰を痛めた!

立ち上がりを介助中、かがんで持ち上げようとして腰を痛めました。



事故防止に向けて

入浴介助は腰に負担がかかる動作がたくさんあるので、腰を落として安定した姿勢で行いましょう。

MEMO

入浴時は転倒のリスクも高いので、力任せにがんばろうとせず、入浴用の介助グッズを利用しましょう。

事例

6

介護職員の
事故

忘れ物に気を取られお風呂場ですべて転倒!

着替えを慌てて取りに行く途中、濡れていた脱衣所ですべてしまいました。



事故防止に向けて

普段気をつけていることとは違う、想定外のことが起きることが多々あります。**慌てたときにこそ事故が起きるもの。いつもより慎重になるように心がけましょう。**

MEMO

浴室、台所などすべりやすい場所はとくに注意!階段や段差のあるところも気をつけましょう。